

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 インフォメーション・ディベロプメント

コード番号 4709 URL <http://www.idnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 真樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長

(氏名) 山内 佳代

TEL 03-3264-3571

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,908	△1.6	559	△13.6	573	△17.0	370	1.7
23年3月期第3四半期	12,098	△5.0	648	5.5	691	12.3	363	30.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 387百万円 (9.6%) 23年3月期第3四半期 353百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	49.84	—
23年3月期第3四半期	48.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,635	6,372	72.1
23年3月期	9,279	6,187	64.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,227百万円 23年3月期 5,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,100	△2.1	630	△24.9	650	△27.2	470	5.1	63.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外 1社 (社名)株式会社シー・エイ・ティ

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 8,029,535 株 | 23年3月期 | 8,029,535 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 601,927 株 | 23年3月期 | 601,694 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 7,427,700 株 | 23年3月期3Q | 7,428,045 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)における日本経済は、円高の長期化、海外経済の減速などによる景気の下振れ懸念があり、顧客の事業活動やIT投資は引き続き慎重な姿勢が続いております。

経済産業省が実施する「特定サービス産業動態統計調査」(平成24年1月20日発表)によりますと、情報サービス産業の売上高は、一部で回復の兆しがみられるものの、引き続き厳しい事業環境にあります。このような環境のもと、当社グループは、引き続き人材育成を最優先課題に取り組むとともに、グループ経営資源の共有と活用による業務効率化、既存顧客へのグループ横断的な営業展開を積極的に行ってまいりました。

この結果、主要事業のシステム運営管理事業においては、顧客からの値下げ要請が一部に見られたものの、潜在ニーズの発掘および付加価値サービスへの転換により、売上高が増加しました。しかしながら、顧客のIT投資抑制の影響によるソフトウェア開発事業の受注不振、および国内の受託データ入力事業からの撤退による受注減などの影響により、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、119億8百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

収益面におきましては、グループを挙げて業務プロセスの改善による生産性の向上に取り組んでまいりましたが、減収に伴う減益のほか、顧客からの値下げ要請等により、収益の回復には至らず、営業利益は5億59百万円(同13.6%減)、経常利益は5億73百万円(同17.0%減)となりました。また、将来の法人税率変更に伴う繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の増加があったものの、子会社株式売却損の損金算入による法人税の減少により、四半期純利益は3億70百万円(同1.7%増)となりました。

なお、当社グループの当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

① システム運営管理

企業のIT投資抑制が続く中、システム運営管理業務のアウトソーシング化の需要を捉えたことにより、売上高は74億2百万円(同1.9%増)となりました。

② ソフトウェア開発

顧客のIT投資抑制の影響を受け、既存顧客における開発案件の受注が低調に推移したことから、売上高は38億16百万円(同3.2%減)となりました。

③ その他

国内の受託データ入力事業からの撤退による受注減などから、売上高は6億89百万円(同22.6%減)となりました。

(注) 当社グループは、従来、「システム運営管理」、「ソフトウェア開発」、「データ入力」の3つを報告セグメントとしておりましたが、データ入力事業の重要性が低下したことにより、第1四半期連結会計期間より、「システム運営管理」、「ソフトウェア開発」の2つに変更しております。

当第3四半期連結累計期間の比較分析は、当該変更の影響を含めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、現金及び預金の減少2億52百万円、売上債権の減少2億98百万円および繰延税金資産の減少1億31百万円などにより、前連結会計年度末の92億79百万円から6億43百万円減少し86億35百万円となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、有利子負債の減少2億41百万円、賞与引当金の減少4億89百万円および未払法人税等の減少1億59百万円などにより、前連結会計年度末の30億91百万円から8億28百万円減少し22億62百万円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、四半期純利益3億70百万円および配当金の支払いによる減少1億41百万円などにより、前連結会計年度末の61億87百万円から1億84百万円増加し、63億72百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

円高の長期化、海外経済の減速などによる景気の下振れ懸念から顧客の事業活動やIT投資は引き続き慎重な姿勢が続いており、事業環境は依然として厳しいと予想しております。

このような状況の下、当社グループは、主力のシステム運営管理業務をさらに強化すると同時に、これまで推進してまいりました「BOO(注1)戦略」、「グローバル戦略」、「プラットフォーム系開発業務(注2)の拡大」に注力するほか、固定費等の削減や、グループ資源の集中による業務効率化等の改善をはかってまいります。

現時点で平成23年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

(注1) : BOO(ビジネスオペレーションズアウトソーシング)とは、一つの顧客に対し、ソフトウェア開発からシステム運営管理、BPOまで、複数のサービスを提供することです。

(注2) : プラットフォーム系開発業務とは、ハードウェア、OS、ミドルウェアの機能を最適な手段で活用し、低コスト高信頼性のシステム稼働環境を設計・構築するサービスです。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲に含めておりました株式会社シィ・エイ・ティは、当社が保有していた株式の全部を同社に譲渡したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,012,863	1,760,361
受取手形及び売掛金	2,763,462	2,464,755
仕掛品	19,042	80,900
繰延税金資産	298,278	214,371
その他	114,559	123,409
貸倒引当金	△1,329	—
流動資産合計	5,206,876	4,643,797
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,686,795	1,697,795
その他(純額)	638,390	705,867
有形固定資産合計	2,325,186	2,403,663
無形固定資産		
のれん	416,413	357,555
ソフトウェア	64,251	74,357
その他	24,325	11,220
無形固定資産合計	504,990	443,132
投資その他の資産	1,242,043	1,144,937
固定資産合計	4,072,220	3,991,733
資産合計	9,279,096	8,635,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	238,561	208,256
短期借入金	780,000	580,000
1年内返済予定の長期借入金	41,150	—
未払法人税等	162,788	2,876
賞与引当金	596,746	107,167
役員賞与引当金	20,835	12,301
その他	579,904	677,191
流動負債合計	2,419,986	1,587,793
固定負債		
退職給付引当金	573,703	578,821
役員退職慰労引当金	3,575	3,963
その他	94,025	92,411
固定負債合計	671,304	675,196
負債合計	3,091,291	2,262,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,344	592,344
資本剰余金	545,593	545,593
利益剰余金	5,340,738	5,569,770
自己株式	△429,696	△429,817
株主資本合計	6,048,979	6,277,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,219	△37,949
為替換算調整勘定	△11,335	△12,564
その他の包括利益累計額合計	△49,554	△50,514
新株予約権	—	5,105
少数株主持分	188,379	140,059
純資産合計	6,187,805	6,372,541
負債純資産合計	9,279,096	8,635,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	12,098,209	11,908,559
売上原価	9,656,592	9,660,234
売上総利益	2,441,617	2,248,325
販売費及び一般管理費	1,793,376	1,688,482
営業利益	648,241	559,842
営業外収益		
受取利息	2,477	2,063
受取配当金	10,494	11,115
助成金収入	28,255	11,801
その他	30,366	18,453
営業外収益合計	71,594	43,434
営業外費用		
支払利息	7,114	4,654
コミットメントライン手数料	18,991	19,013
その他	2,322	5,826
営業外費用合計	28,428	29,495
経常利益	691,407	573,781
特別利益		
固定資産売却益	0	548
役員退職慰労引当金戻入額	1,000	—
特別利益合計	1,000	548
特別損失		
固定資産売却損	851	447
固定資産除却損	2,568	5,435
子会社株式売却損	—	46,588
減損損失	—	427
投資有価証券評価損	6,317	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,853	—
特別損失合計	19,591	52,898
税金等調整前四半期純利益	672,816	521,431
法人税、住民税及び事業税	56,864	5,908
法人税等調整額	247,812	126,531
法人税等合計	304,676	132,440
少数株主損益調整前四半期純利益	368,139	388,991
少数株主利益	4,268	18,829
四半期純利益	363,871	370,161

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	368,139	388,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,225	197
為替換算調整勘定	△6,093	△1,229
その他の包括利益合計	△14,318	△1,032
四半期包括利益	353,820	387,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,031	369,202
少数株主に係る四半期包括利益	2,789	18,756

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.7%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は42,611千円減少し、その他有価証券評価差額金が2,850千円、法人税等調整額は39,761千円増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。